

鴻巣行田北本環境資源組合
議長 工藤 日出夫 様

令和元年 11 月 15 日
竹村 元宏

「行田市所有の小針クリーンセンター隣接地と現建設候補地とを、比較検討することを求める」請願についての追加説明

私たちは自らが排出するごみを 3 市の共同体で処理すると決意し、鴻巣行田北本市の 3 市がごみ処理施設を建設する計画を立案したことに対し敬意を表します。

私たちが提出いたしました請願書は、すでにお手元に届いてあると存じますが、市民からこの請願書に賛同の署名を集めている間に、鴻巣市安養寺地区に建設する施設の概算事業費が公開になり、同様の施設を行田市小針地区に建設する事業費も公開されました。請願書にあります通り、この請願は行田市長から「行田市小針にあるクリーンセンターに隣接し、過去に建設を予定して整備された土地を利用した場合と、現予定地の総額の費用を比較検討すべきとの提案がだされた」と聞き、3 市共同体である市の提案は前向きに取り上げ、少しでもコストを安くなるよう検討すべきと考えましたので、請願を提出いたしました。このため本日は、提出した請願の願意と共に、公開された事業費に関する意見も申し上げたいと存じます。

1、公開された概算事業費総計について

私の入手した令和元年 10 月 23 日時点の概算事業費総計は 603 億 2 千万円から 611 億 4 千万円となっています。この事業費からざっくりと建設終了後のごみ処理費増加額を考えてみました。

概算事業費の中には、建設が終了した後 20 年間の運営費（ごみ処理費）234,4^{おく} 千万円が含まれています。このごみ処理費の 1 年分の費用は、11 億 7 千万円となります。

現在の 3 市のごみ処理費は上記 11 億 7 千万円程度と思われます。

国の補助金は施設建設費の約 26%とし、約 86 億円。

事業費総計から処理費と補助金を差し引いた約 283 億円が総建設費となります。これを 20 年で償却するとすれば、建設総建設費の一年分の額は 14 億円と計算されます。この結果のごみ処理費は運営費の 1 年分と合算し約 25 億円となり現在の約 2.2 倍となり 20 年間推移することになります。これらの計算は概算事業費のみから大まかに計算したもので、詳しくは環境資源組合でお確かめ下さい。

2、鴻巣市安養寺地域に関する懸念について

鴻巣市安養寺地域に関して多くの市民が懸念していることは、地盤が軟弱で、施設の建設に耐えうるかと言うことです。近年各地で建設されるごみ処理施設は、ごみを密閉状態で高温処理を行い、処理によって発生した蒸気を使用して発電する等といった緻密な装置を持つ